

令和7（2025）年度

福島大学大学院

地域デザイン科学研究科（修士課程）

人間文化専攻

地域政策科学専攻

経済経営専攻

学生募集要項

※本学におけるすべての入試はインターネット出願です。

インターネット出願登録だけでは出願手続は完了しません。

（出願書類一式を簡易書留速達で郵送もしくは持参することで、すべての出願手続が完了となります。）



国立大学法人

福島大学

Fukushima University

〒960-1296

福島市金谷川1番地

☎024-548-8064（入試課）

<https://www.fukushima-u.ac.jp/>

福島大学

スマートフォン対応サイト



目 次

福島大学大学院地域デザイン科学研究科（修士課程）学生募集要項

| | |
|---|------|
| アドミッション・ポリシー（入学者受入方針） | 1 |
| 1. 募集人員 | 4 |
| 2. 出願資格 | 4 |
| 3. 出願手続 | 7 |
| 4. 選抜方法 | 16 |
| (1) 人間文化専攻 | 16 |
| (2) 地域政策科学専攻 | 18 |
| (3) 経済経営専攻 | 21 |
| 5. 試験日程および試験会場 | 23 |
| 6. 障がい等のある入学志願者の事前相談 | 25 |
| 7. 安全保障輸出管理について | 25 |
| 8. 合格者発表 | 25 |
| 9. 入学手続および入学手続に係る留意事項 | 25 |
| 10. 入学料・授業料の減免について | 26 |
| 11. 不正行為の禁止について | 26 |
| 12. 入学志願者の個人情報保護について | 26 |
| 13. 東日本大震災（原発事故含む）および激甚災害において 被災された方に対する検定料の免除について | 27 |
| 14. 追加募集等について | 28 |
| 15. 長期履修学生制度について | 28 |
| ○福島大学案内図 | 本要項末 |

福島大学大学院地域デザイン科学研究科（修士課程）学生募集要項 アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

<人間文化専攻>

○ 教育目標と求める学生像

人間文化専攻では人間および人間社会が歴史的に創り上げてきた文化に関する専門的な探究・学際的な融合を通して、地域における人間と文化の21世紀的なあり方をデザインしていくことを目的としています。これを達成するために、高度で多様な専門的知識を持ち、地域との協働の中で新しい価値を創造して諸問題の解決を先導できる高度専門職業人として以下の能力を身につけることを希望する者を受け入れます。

- ・ 人間や社会，地域，文化に対する問題意識を持ち，高度専門職業人にふさわしい知識と技能の修得を望む学生あるいは社会人。
- ・ 課題を解決するために必要な組織や人材を活かしながら，修得した知識や技能を地域で積極的に生かそうとする能力の修得を望む学生あるいは社会人。

人間文化専攻には，言語文化コース，地域文化コース，スポーツ・芸術文化コース，人間発達心理コース，の4つのコースがあります。各コースが求める学生像は，次のとおりです。

<言語文化コース>

言語文化に関する専門的な知識を基に，文化の創造・発展に貢献する力を身につけることを目指す学生。

<地域文化コース>

地域，社会，生活に関する専門的な知識を基に，文化の創造・発展に貢献する力を身につけることを目指す学生。

<スポーツ・芸術文化コース>

スポーツ・健康，音楽，美術に関する専門的な知識・技能を基に，スポーツ・芸術文化の創造・発展に貢献する力を身につけることを目指す学生。

<人間発達心理コース>

人間の発達と心理に関する専門的な知識を基に，人間発達心理分野に貢献する力を身につけることを目指す学生。

○ 入試の際に求める知識・技能・関心

上記の目的を達成するため，以下に掲げる知識，技能，関心を有している学生あるいは社会人を求めます。

- ① 社会や地域，文化あるいは人間発達に対する研究的な強い関心
- ② 大学院での研究の基礎となる当該分野の学力
- ③ 大学院での研究に関する明確な目標と計画

○ 入学者選抜の基本方針

人間文化専攻では，下表に記した方法で，「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（以下，「主体性等）」の学力の3要素を評価します。

| 入試の種類 | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 主体性等 |
|-----------|----------------------|-------------|------|
| 一般入試 | 成績証明書・外国語科目*・専門科目・面接 | | 面接 |
| 学類所属生特別入試 | 成績証明書・学習履歴レポート・面接 | | 面接 |
| 現職教員特別入試 | 実践記録レポート・面接 | | 面接 |

※人間発達心理コース臨床心理領域のみ

<地域政策科学専攻>

○ 教育目標と求める学生像

地域政策科学専攻は、学際的かつ政策科学的な教育課程を通じて、地域社会が提起する諸課題に対応できる理論と応用の研究能力を高め、地域社会の各分野で中核的役割を担う高度な専門性を備えた人材を養成することを目的としています。

本専攻では、広く学際的な観点から地域の多様な政策課題に対応した研究に取り組み、時代の進展と地域社会の要請に応える高度で専門的な研究能力を身につけようとする学生を求めます。

○ 入試の際に求める知識・技能・関心

広く学際的な観点から地域の多様な政策課題に対応した研究に取り組み、時代の進展と地域社会の要請に応える高度で専門的な研究能力を身につけるために、以下に掲げる知識、技能、関心を有している学生あるいは社会人を求めます。

- ・ 地域的諸問題および地域政策に対する強い研究上の関心
- ・ 大学院での研究の基礎となる当該分野・領域に関する学力
- ・ 大学院での研究に関する明確な目標と計画

○ 入学者選抜の基本方針

地域政策科学専攻では、下表に記した方法で、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（以下、「主体性等）」の学力の3要素を評価します。

| 入試の種類 | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 主体性等 |
|------------|-------|-------------|---------|
| 一般入試（A日程） | | 専門科目 | 面接 |
| 一般入試（C日程） | | 専門科目 | 口述試験、面接 |
| 社会人特別入試 | | 口述試験 | 面接 |
| 社会人特別推薦入試 | | 面接 | 面接 |
| 外国人留学生特別入試 | | 専門科目 | 面接 |

<経済経営専攻>

○ 教育目標と求める学生像

経済経営専攻では、以下のような学士あるいはそれに準ずる社会人を選抜して受け入れます。

- ・ 経済学、経営学、会計学の専門知識を身につけ、諸課題に応用し実践し、社会に還元する意欲と素地をもっている
- ・ 自らの問題意識のもとに研究課題を設定し、必要な情報や知見を収集し整理し、課題の解決に向けて分析を展開する意欲と素地をもっている
- ・ 蓄積されてきた知見や諸議論を論理的思考のもとに整理し分析することができ、また自らの主張や意見を論理的に説明する意欲と素地をもっている
- ・ グローバルな視野をもってローカルに行動する意欲と素地をもっている

○ 入試の際に求める知識・技能・関心

上記の目的を達成するため、以下に掲げる関心、知識、技能を有している志願者を求めます。

- ・ 経済、経営、会計分野の理論的、実践的諸課題に関する探究心
- ・ 大学院における研究の基礎となる当該分野や領域についての学力
- ・ 大学院における研究に関する明確な問題意識と計画

上記の観点から、一般入試を実施し、加えて、多様な問題意識の志願者に対応するために次の4つの特別入試を実施しています。

- ・ 学類所属生特別入試：本学経済経営学類において所定基準以上の成績を収め、これまでの学習内容を基礎に、さらに高度な研究の継続を希望する志願者を対象にした特別入試
- ・ 社会人特別入試：社会人としての経験を活かして明確な問題意識をもって研究に励もうとする、意欲的な志願者を対象とする特別入試
- ・ 商業科・公民科教員特別入試：高等学校教育での経験や問題意識を基礎にして、最新の学術知識を修得し教育の現場に還元していこうとする志願者やキャリアアップを図りたいと考える志願者を対象にした特別入試
- ・ 修士再履修特別入試：明確な目的意識のもとに、これまでの研究成果の上にさらに経済・経営分野の研究を積み上げていこうとする意欲的な志願者を対象にした特別入試

○ 入学者選抜の基本方針

「入試の際に求める知識・技能・関心」を各入試区分において、下表に示した方法で評価します。

| 入試区分 | 基礎学力 | 探究心 | 問題意識 |
|-------------------|-------------------------|-------------|-------------|
| 一般入試 | 筆記試験（外国語科目，専門科目）， 面接 | 研究計画書 面接 | 研究計画書 面接 |
| 学類所属生特別入試 | 専門領域科目G P平均，面接 | 研究計画書 面接 | 研究計画書 面接 |
| 社会人特別入試 | 業績報告書，面接 | 研究計画書 面接 | 志願理由書 面接 |
| 商業科・公民科教員 特別入試 | 業績報告書，面接 | 研究計画書 面接 | 志願理由書 面接 |
| 修士再履修特別入試 | 業績報告書，面接 | 研究計画書 面接 | 志願理由書 面接 |

1. 募集人員

| 日程 | 専攻 | コース・領域 | 募集人員 |
|----------|------------------------|------------------|---------|
| A | 人間文化専攻 | 言語文化コース | 約4 |
| | | 地域文化コース | 約4 |
| | | スポーツ・芸術文化コース | 約4 |
| | | 人間発達心理コース | 教育心理学領域 |
| | 幼児教育領域 | | |
| 臨床心理領域 | | | |
| 地域政策科学専攻 | 法・政策コース コミュニティ探究コース | 約4 | |
| B | 経済経営専攻 | 経済学コース 経営学コース | 7 |
| C | 人間文化専攻 | 言語文化コース | 若干名 |
| | | 地域文化コース | |
| | | スポーツ・芸術文化コース | |
| | | 人間発達心理コース | |
| | 幼児教育領域 | | |
| | 臨床心理領域 | | |
| 地域政策科学専攻 | 法・政策コース コミュニティ探究コース | 約4 | |
| 経済経営専攻 | 経済学コース 経営学コース | 7 | |
| D | 経済経営専攻 | 経済学コース 経営学コース | 若干名 |

人間文化専攻（A日程，C日程）募集人員……………20名

地域政策科学専攻（A日程，C日程）募集人員……………8名

経済経営専攻（B日程，C日程，D日程）募集人員…14名

（注）地域政策科学専攻においては上表A日程，経済経営専攻においては上表B日程の合格者が募集人員に満たない場合，その欠員はC日程に加えます。また，経済経営専攻C日程の合格者が募集人員に満たない場合（B日程の欠員分を含む），その欠員はD日程に加えます。

2. 出願資格

【修士課程出願資格】

次の各号のいずれかに該当する者または令和7（2025）年3月までに該当する見込みの者

- ① 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に規定する大学(以下「大学」という。)を卒業した者
- ② 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
- ③ 外国において，学校教育における16年の課程を修了した者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- ⑤ 我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府または関係機関の認証を受けた者による評価を受けたものまたはこれに準ずるものとして

文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了することおよび当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって学校教育法施行規則第155条第1項第4号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者

⑦ 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

⑧ 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)

※⑨ (人間文化専攻, 地域政策科学専攻)

次のいずれかに該当する者

ア 外国において学校教育における15年の課程を修了した者であって、本研究科が、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者

イ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、本研究科が、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者(経済経営専攻)

ウ 大学に3年以上在学した者(外国において学校教育における15年の課程を修了した者、または我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者を含む。)であって、本研究科が、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者

※⑩ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和7(2025)年3月31日までに満22歳に達する者(平成15(2003)年4月1日に生まれた者を含む。)

※ 出願資格⑨または⑩で出願しようとする者については、出願前に本研究科における個別の入学資格審査(以下「個別審査」という。)が必要です。個別審査の詳細および提出書類については、本学ウェブサイトの「入試情報」(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp>)を参照するか、本学入試課に問い合わせてください。

(1) 人間文化専攻

① 一般入試(A日程, C日程)

【修士課程出願資格】のいずれかに該当する者

② 学類所属生特別入試(人間発達心理コース臨床心理領域は除く)(A日程, C日程)

次の全ての要件に該当する者

- ・ 福島大学を令和7(2025)年3月までに卒業見込みであること
- ・ 人間発達文化学類教員または人間文化専攻教員の卒業研究指導を受け、推薦を得ていること
- ・ 研究意思が明確で、卒業後の入学を確約できること

③ 現職教員特別入試(人間発達心理コース臨床心理領域は除く)(A日程, C日程)

【修士課程出願資格】のいずれかに該当し、かつ、次の要件に該当する者

- ・ 出願時まで3年以上の教職経験(学校教育法第1条に定めるもの)を持ち、出願した年

度内に勤務実績のある者

※ 学校教育法第1条に定めるものとは、幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学、高等専門学校の各校種である。

(2) 地域政策科学専攻

① 一般入試（A日程，C日程）

【修士課程出願資格】のいずれかに該当する者

② 社会人特別入試（A日程，C日程）

【修士課程出願資格】のいずれかに該当し，かつ，次のいずれかの要件に該当する者

- ・ 令和7（2025）年3月31日現在，年齢満27歳に達している者（平成10（1998）年4月1日に生まれた者を含む。）
- ・ 令和7（2025）年3月31日現在，年齢満27歳に達していない者で，出願時および受験時に定職（主婦／主夫業を含む）に就いており，労働時間が週20時間以上の者（アルバイト，パート等を含む。主婦／主夫業については労働時間を考慮しない。）

③ 社会人特別推薦入試（A日程，C日程）

【修士課程出願資格】のいずれかに該当し，かつ，次の全ての要件に該当する者

- ・ 出願時および受験時に定職に就いており，労働時間が週20時間以上の者（アルバイト，パート等を含む。主婦／主夫業については労働時間を考慮しない。）
- ・ 所属長より推薦された者

④ 外国人留学生特別入試（A日程，C日程）

【修士課程出願資格】のいずれかに該当し，かつ，次の要件に該当する者

- ・ 日本国籍を有しない者

(3) 経済経営専攻

① 一般入試（B日程，C日程，D日程）

【修士課程出願資格】のいずれかに該当する者

② 学類所属生特別入試（B日程，C日程，D日程）

出願資格があるのは，出願時に本学経済経営学類に在学する19カリ生であり，なおかつ次のアからウの条件の全てを満たす者とする。

ア 出願時の直前のセメスター終了時点で，専門領域科目G P平均が2.75以上で，アドバイザー教員等が責任をもって推薦できる者（出願に先立って教務課で自身の専門領域科目G P平均を確認すること。）

イ 出願した年度の末に卒業見込みの者

ウ 合格した場合には入学を確約できる者

③ 社会人特別入試（B日程，C日程，D日程）

【修士課程出願資格】のいずれかに該当し，かつ，次のいずれかの要件に該当する者

- ・ 令和7（2025）年3月31日現在，年齢満27歳に達している者（平成10（1998）年4月1日に生まれた者を含む。）
- ・ 令和7（2025）年3月31日現在，年齢満27歳に達していない者で，出願時および受験時に定職（主婦／主夫業を含む。）に就いており，労働時間が週20時間以上の者（アルバイト，パート等を含む。主婦／主夫業については労働時間を考慮しない。）

- ④ 商業科・公民科教員特別入試（B日程，C日程，D日程）
【修士課程出願資格】のいずれかに該当し，かつ，次の要件に該当する者
- ・ 教育職員免許法に基づく高等学校の教育職員免許状（商業または公民）を有し，受験時まで
 に高等学校において教育職員（非常勤を含む。）の経歴がある者
- ⑤ 修士再履修特別入試（B日程，C日程，D日程）
 次のいずれかの要件に該当する者
- ・ 社会科学系列の内容の修士論文で修士の学位を取得している者
 （令和7（2025）年3月に取得見込みの者を含む。）
 - ・ 社会科学系列の内容の博士論文で博士の学位を取得している者
 （令和7（2025）年3月に取得見込みの者を含む。）
- なお，論文の内容が学際的で社会科学系列か否か判断に迷う場合は，事前に本学入試課に相談してください。

3. 出願手続

- ◎ 希望者は，研究分野の整合性等について，出願前に希望する指導教員と連絡を取り，相談することが可能です。

※連絡先等につきましては，本学ウェブサイト参照するか，
 本学入試課（E-mail:nyushi@adb.fukushima-u.ac.jp）まで問い合わせてください。

(1) 出願方法の確認（Step 1）

出願手続については，本学ウェブサイト「入試情報－募集要項」
 (<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html>) に掲載されている「インターネット出願ガイド」および以下を参照してください。

インターネット出願登録（下記Step 2）だけでは出願手続は完了しません。

| | | |
|--------|-----------------------------------|--|
| Step 1 | 出願方法の確認 (7～8ページ参照) | 出願手続を始める前に，この学生募集要項をよく読んで， 内容を確認してください。 |
| ▼ | | |
| Step 2 | インターネット出願登録 (9ページ参照) | 出願登録期間内に，インターネット出願サイトにアクセスして 必要な情報を入力してください。 |
| ▼ | | |
| Step 3 | 検定料の支払い (9～10ページ参照) | インターネット出願サイトの指示に従い，検定料を支払って ください（検定料免除申請を行う場合は支払わないで ください）。 |
| ▼ | | |
| Step 4 | 必要書類の作成・ 印刷・送付 (10～15ページ参照) | インターネット出願サイトおよび本学ウェブサイトから印刷 した必要書類と，他の全ての必要書類を出願期間内に本 学へ届くよう「簡易書留速達」で郵送してください。 |
| ▼ | | |
| Step 5 | 受験票の印刷 (15ページ参照) | 出願が受理された方は，出願期間後にインターネット出願 サイトから受験票を印刷できるようになります。入学志願 者各自がカラー印刷して，必ず試験当日に持参してくだ さい。 |

(2) 事前準備 (Step 1)

| インターネット出願登録の前に、あらかじめ余裕をもって確認および準備をしてください。 | |
|---|---|
| パソコン等の準備 | インターネット出願は、以下の環境で行ってください。 <Windows> ・Microsoft Edge (最新バージョン) ・Google Chrome (最新バージョン) ・Firefox (最新バージョン) <Mac OS> ・Safari (最新バージョン) <Android 12.0 以上> ・Android Chrome (最新バージョン) <iOS 15.0 以上> ・Safari (最新バージョン) ※最新バージョン以外でも利用することはできますが、正常に動作しない場合がありますのでご注意ください。また、その場合は最新バージョンへアップデートしてご利用ください。 |
| メールアドレスの準備およびメールの設定 | 出願にはメールアドレスが必要となりますので、事前にメールアドレスを準備してください。 スマートフォン、携帯電話等のメールアドレスも利用可能です。なお、ドメイン指定受信を設定されている方は、次のドメインからのメールを受信できるように設定を追加してください。 (@adb.fukushima-u.ac.jp, @postanet.jp) 出願時に登録したメールアドレスに、以下に該当するメールが送信されます。 ①インターネット出願登録入力中のテストメール ②出願登録情報の入力完了時の自動送信メール ③検定料支払完了時の自動送信メール (検定料免除申請を行う場合は送信されません) ④顔写真が否認された際のメール (出願後、数日で承認または否認されます) ⑤受験票が取得・印刷可能になった際の通知メール ※受験票を印刷するまで、メールアドレスは変更しないでください。 |
| 入学志願者本人写真 (データ) の準備 | インターネット出願登録にあたって、カラーの顔写真データ (jpg) が必要です (受験票に顔写真が掲載されることとなります)。 写真は本人確認に使用しますので、インターネット出願サイトにて出願前3か月以内に正面、上半身、脱帽、背景なしで撮影した鮮明な写真をアップロードしてください。 写真の比率は縦4cm×横3cm、ファイルサイズは3MBまでです。 以下の【使用できない写真の例】に該当するような、本人確認に支障のある写真の場合は、出願を受け付けられないことがあるので注意してください。 【使用できない写真の例】 不鮮明、背景が暗い、顔が横向き、化粧や前髪が目にかかるなどで本人確認が困難、複数人で写っている、画像に加工を施している、 現像された写真を再撮影しているもの 等。 |
| 必要書類等の準備 | 「(7)出願書類等」(10~15ページ参照)記載の書類を、出願期間に間に合うようあらかじめ準備してください。 |
| 出願書類提出用封筒の準備 | 出願書類提出のために、市販の角形2号封筒(240mm×332mm)を準備してください。 |
| 様式印刷の準備 (プリンタ、印刷用紙等) | インターネット出願サイトから出力する様式類は、A4サイズの印刷用紙にカラー印刷する必要がありますので、カラープリンタおよび印刷用紙を準備してください。印刷条件に適合していれば、公共施設やコンビニエンスストアの印刷サービスを利用して印刷しても構いませんが、個人情報の取り扱いには十分注意してください。 印字が不鮮明で事実確認ができない場合は、本人に問い合わせをする場合があります。 |

(3) インターネット出願登録期間 (Step 2)

| | | |
|-----|----------|--------------------------------------|
| A日程 | 人間文化専攻 | 令和6年9月22日(日)～9月27日(金) 午後4時30分まで |
| | 地域政策科学専攻 | 令和6年9月22日(日)～9月30日(月) 午後4時30分まで |
| B日程 | 経済経営専攻 | 令和6年10月30日(水)～11月8日(金) 午後4時30分まで |
| C日程 | 人間文化専攻 | 令和7年1月4日(土)～1月9日(木) 午後4時30分まで |
| | 地域政策科学専攻 | 令和7年1月27日(月)～2月3日(月) 午後4時30分まで |
| | 経済経営専攻 | 令和7年1月6日(月)～1月17日(金) 午後4時30分まで |
| D日程 | 経済経営専攻 | 令和7年2月11日(火・祝)～2月21日(金) 午後4時30分まで |

(4) 検定料の支払い (Step 3)

検定料は30,000円です。インターネット出願サイトの支払い方法を参照して、「クレジットカード」「コンビニエンスストア」「ペイジー(ネットバンキング・銀行ATM)」のいずれかの方法で払い込んでください(払込手数料が別途必要です)。

【払込期間】

| | | |
|-----|----------|--------------------------------------|
| A日程 | 人間文化専攻 | 令和6年9月22日(日)～9月27日(金) 午後4時30分まで |
| | 地域政策科学専攻 | 令和6年9月22日(日)～9月30日(月) 午後4時30分まで |
| B日程 | 経済経営専攻 | 令和6年10月30日(水)～11月8日(金) 午後4時30分まで |
| C日程 | 人間文化専攻 | 令和7年1月4日(土)～1月9日(木) 午後4時30分まで |
| | 地域政策科学専攻 | 令和7年1月27日(月)～2月3日(月) 午後4時30分まで |
| | 経済経営専攻 | 令和7年1月6日(月)～1月17日(金) 午後4時30分まで |
| D日程 | 経済経営専攻 | 令和7年2月11日(火・祝)～2月21日(金) 午後4時30分まで |

なお、支払期限はインターネット出願登録を完了した日を含む4日間です(出願締切が4日より短い場合、出願締切が優先されます)。

出願書類を受理した後は、いかなる理由があっても検定料は返還できません。ただし、次の場合は検定料返還請求ができますので下記に申し出てください。

ア. 検定料を払い込んだが、出願しなかった
(出願書類を提出しなかった、または出願が受理されなかった)

イ. 検定料を誤って二重に払い込んだ

なお、請求方法等については、該当者へ個別に通知します。

また、返還の際の振込手数料は請求者負担となります。

検定料返還に関する問い合わせ先

検定料返還手続に関すること：福島大学入試課

Tel:024-548-8064

返還金の振込に関すること：福島大学財務課出納係

Tel:024-548-8015

※検定料免除について

本学では、令和6（2024）年度に行われる全ての入試において、検定料免除の特別措置を行います。

免除の条件については27ページの「13. 東日本大震災（原発事故含む）および激甚災害において被災された方に対する検定料の免除について」を確認してください。

なお、検定料免除申請を行う場合は、出願時に検定料を払い込まないでください。

(5) 出願期間（Step4）

| 日程 | 専攻 | 出願期間 | 試験日 | 合格発表 |
|----|----------|-------------------------------------|---------------|--------------------|
| A | 人間文化専攻 | 令和6年9月24日(火) ～9月27日(金) 午後5時まで | 令和6年10月16日(水) | 令和6年10月24日(木) |
| | 地域政策科学専攻 | 令和6年9月24日(火) ～9月30日(月) 午後5時まで | 令和6年10月16日(水) | 令和6年10月24日(木) |
| B | 経済経営専攻 | 令和6年11月1日(金) ～11月8日(金) 午後5時まで | 令和6年12月7日(土) | 令和6年12月12日(木) |
| C | 人間文化専攻 | 令和7年1月6日(月)～ 1月9日(木) 午後5時まで | 令和7年2月5日(水) | 令和7年2月13日(木) |
| | 地域政策科学専攻 | 令和7年1月29日(水) ～2月3日(月) 午後5時まで | 令和7年2月12日(水) | 令和7年2月20日(木) |
| | 経済経営専攻 | 令和7年1月8日(水) ～1月17日(金) 午後5時まで | 令和7年2月1日(土) | 令和7年2月6日(木) |
| D | 経済経営専攻 | 令和7年2月13日(木) ～2月21日(金) 午後5時まで | 令和7年3月8日(土) | 令和7年3月20日 (木・祝) |

(6) 出願書類提出先（Step4）

福島大学入試課 〒960-1296 福島市金谷川1番地 Tel:024-548-8064

(7) 出願書類等（Step4）

入学志願者は出願に必要な書類を取り揃え、**簡易書留速達**で郵送または持参してください。
出願期間を過ぎた場合は受理できませんので、郵送期間を十分に考慮して早めに送付してください。ただし、出願期間最終日前日の発信局消印のある簡易書留速達に限り、期限後に到着した場合でも受理します。**出願期間最終日当日の発信局消印の簡易書留速達は、受理しません**
 （出願期間内に書類が本学に到着しないことが確実であるため）。

持参の場合、入試課の窓口受付時間は平日の午前9時から午後5時までです。

【人間文化専攻】

| 出願に必要な書類 | 提出該当者 | 摘 要 |
|-------------------|---------------------------------|---|
| 1. 入学志願票 (◆) | 全員 | 本学所定の様式 必要事項を記入してください。 |
| 2. 出願資格を証明する書類 | 全員 | 以下の書類のうち、該当するもの <ul style="list-style-type: none"> ・卒業（見込）証明書 出身（所属）大学長または学部長が作成したもの。 ・学位授与証明書 【修士課程出願資格】②に該当する者。大学改革支援・学位授与機構が発行したもの。学位の授与を申請する予定の者は、短期大学長または高等専門学校長が作成した学位授与申請予定証明書。 ・専修学校専門課程修了（見込）証明書 【修士課程出願資格】⑦に該当する者。証明書内に「修業年限が4年以上であること」、「課程の修了に必要な総授業時間数が3,400時間以上あること」の必要要件が明記されたもの。 ・専修免許状または一種免許状の写し 【修士課程出願資格】⑧に該当する者のうち、昭和28年文部省告示第5号十に該当する者。 |
| 3. 研究計画および履歴等 (◆) | 全員 | 本学所定の様式 |
| 4. 成績証明書 | 一般入試 学類所属生特別 入試志願者 | 出身（所属）大学長・学校長または学部長が作成したもの |
| 5. 研究業績書 (◆) | 代替希望者 | 本学所定の様式 |
| 6. 作品提出用紙 (◆) | スポーツ・芸術文化コースの美術分野において作品提出を希望する者 | 本学所定の様式 |
| 7. 学習履歴レポート | 学類所属生特別 入試志願者 | 大学でのこれまでの学びを、レポート形式で4,000字～6,000字程度で執筆してください。(1)何を学んできたのか、(2)どんな力がつき、何ができるようになったのか、(3)どんな興味・関心が芽生え、どのようなテーマを立てどのような方法で卒業研究を行っているのか等を、できるだけ詳しく論じてください。 様式は、A4用紙、40字×30行。図表の文字は、本文の文字数に含みません。 なお、レポート本文および研究資料等はファイルに入れたり、ホチキスで留めず、全てクリップで留めて提出してください。 |

| 出願に必要な書類 | 提出該当者 | 摘 要 |
|------------------------|-----------------------------|--|
| 8. 実践記録レポート | 現職教員特別入試志願者 | 大学院で研究したいテーマに対応する、教育現場での自身の実践およびその考察を、レポート形式で4,000字～6,000字程度で執筆してください。 様式は、A4用紙、40字×30行。図表の文字は、本文の文字数に含みません。 その際、実践記録レポートを裏付ける資料（指導案や公刊された指導記録など）を1報以上提出してください。研究資料は、レポート本文のどこに対応するのかを明示してください（書式は任意）。 なお、レポート本文および研究資料等はファイルに入れたり、ホチキスで留めず、全てクリップで留めて提出してください。 |
| 9. 受験承諾書（◆） | 一般入試・現職教員特別入試志願者（学校等に在職中の者） | 本学所定の様式 所属長が作成したもの ※在職中でない場合は提出不要です。 |
| 10. 検定料免除申請書（◆）および添付書類 | ※申請者のみ提出 | 本学所定の様式 検定料免除申請を行う場合は、出願時に検定料を払い込まないでください。 |
| 11. 出願書類提出用封筒 | 全員 | 各自で準備した市販の角形2号（240mm×332mm）の封筒に、上記1～10の必要書類で該当するものを封入し、簡易書留速達で郵送してください。 |
| 12. 出願書類提出用宛名シート（◇） | 全員 | インターネット出願サイトからカラーで印刷し、「11. 出願書類提出用封筒」のおもて面にはがれないよう全面のり付けで貼付してください。 出願に必要な書類を封入し、宛名シートの出願者チェック欄において、出願書類に漏れがないことをチェックしてください。 |

【地域政策科学専攻】

| 出願に必要な書類 | 提出該当者 | 摘 要 |
|----------------|-------|---|
| 1. 入学志願票（◆） | 全員 | 本学所定の様式 必要事項を記入してください。 |
| 2. 出願資格を証明する書類 | 全員 | 以下の書類のうち、該当するもの ・卒業（見込）証明書 出身（所属）大学長または学部長が作成したもの。 ・学位授与証明書 【修士課程出願資格】②に該当する者。大学改革支援・学位授与機構が発行したもの。学位の授与を申請する予定の者は、短期大学長または高等専門学校長が作成した学位授与申請予定証明書。 ・専修学校専門課程修了（見込）証明書 【修士課程出願資格】⑦に該当する者。証明書内に「修業年限が4年以上であること」、「課程の修了に必要な総授業時間数が3,400時間以上あること」の必要要件が明記されたもの。 ・専修免許状または一種免許状の写し 【修士課程出願資格】⑧に該当する者のうち、昭和28年文部省告示第5号十に該当する者。 |
| 3. 成績証明書 | 全員 | 出身（所属）大学長・学校長または学部長が作成したもの |

| 出願に必要な書類 | 提出該当者 | 摘 要 |
|---|---------------------------------|---|
| 4. 研究計画書 (◆) | 全員 | 本学所定の様式 |
| 5. 卒業研究全文 および要旨 (4,000～5,000字) (各5部) | 一般入試 (C日程) 志願者 | 出身(卒業見込)大学において単位を認定された(または認定見込みの)卒業研究および4,000字～5,000字で作成したその要旨(各5部)を提出してください。「卒業研究」とは、「卒業論文」「卒業レポート」等の名称による論文・レポート等を指し、入学志願者がひとりで書いたものとします。共同執筆の場合は「6. 小論文」により出願してください。 |
| 6. 小論文(5部) | 一般入試 (C日程) 社会人特別入試 志願者 | 5に該当する卒業研究等を有しない一般入試C日程志願者は、出身(卒業見込)大学において専攻したテーマに関連する内容について8,000～20,000字で作成した小論文(5部)を提出してください。入学志願者がひとりで書いたものとします。 社会人特別入試志願者は、入学後の研究計画に関連する任意のテーマについて8,000～20,000字で作成した小論文(5部)を提出してください。 【作成上の注意】 パソコン等で作成する場合は、小論文の表紙または1枚目に1列の文字数と行数を記載してください(例:「1列40文字×40行で作成」)。 |
| 7. 経歴および志願理由書(◆) | 社会人特別入試 社会人特別推薦 入試志願者 | 本学所定の様式 |
| 8. 社会人であることを示す証明書 | 社会人特別入試 志願者 | 出願資格②②に該当する者は、定職に就いていることを証明する書類(例えば給与明細書、源泉徴収票、健康保険証、所得証明書、青色申告書等)の写しを提出してください。 |
| 9. 推薦書(◆) | 社会人特別推薦 入試志願者 | 本学所定の様式(開封無効) |
| 10. 研究業績リスト(◆) | 社会人特別入試 社会人特別推薦 入試志願者 | 研究業績のある者は、公刊された業績(写しでも可)とともに本学所定の様式を用いた研究業績リストを提出することができます。なお、提出された研究業績は、原則として返却しません。 (注)返却を希望する場合は、出願時に申し出てください。 |
| 11. 検定料免除申請書(◆)および添付書類 | ※申請者のみ提出 | 本学所定の様式 検定料免除申請を行う場合は、出願時に検定料を払い込まないでください。 |
| 12. 出願書類提出用封筒 | 全員 | 各自で準備した市販の角形2号(240mm×332mm)の封筒に、上記1～11の必要書類で該当するものを封入し、簡易書留速達で郵送してください。 |
| 13. 出願書類提出用宛名シート(◇) | 全員 | インターネット出願サイトからカラーで印刷し、「12. 出願書類提出用封筒」のおもて面にはがれないよう全面のり付けで貼付してください。 出願に必要な書類を封入し、宛名シートの出願者チェック欄において、出願書類に漏れがないことをチェックしてください。 |

【経済経営専攻】

| 出願に必要な書類 | 提出該当者 | 摘 要 |
|--------------------------|--|---|
| 1. 入学志願票 (◆) | 全員 | 本学所定の様式 必要事項を記入してください。 |
| 2. 出願資格を証明する書類 | 全員 | 以下の書類のうち、該当するもの <ul style="list-style-type: none"> ・卒業（見込）証明書 出身（所属）大学長または学部長が作成したもの。 ・学位授与証明書 【修士課程出願資格】②に該当する者。大学改革支援・学位授与機構が発行したもの。学位の授与を申請する予定の者は、短期大学長または高等専門学校長が作成した学位授与申請予定証明書。 ・専修学校専門課程修了（見込）証明書 【修士課程出願資格】⑦に該当する者。証明書内に「修業年限が4年以上であること」、「課程の修了に必要な総授業時間が3,400時間以上あること」の必要要件が明記されたもの。 ・修了（見込）証明書（修士再履修特別入試） ・専修免許状または一種免許状の写し 【修士課程出願資格】⑧に該当する者のうち、昭和28年文部省告示第5号十に該当する者。 |
| 3. 成績証明書 | 全員 | 出身（所属）大学長・学校長または学部長が作成したもの |
| 4. 研究計画書 (◆) | 全員 | 本学所定の様式 社会人特別入試の入学志願者は22ページの研究計画書の作成要領に従って記入してください。 |
| 5. 推薦状 (◆) | 学類所属生特別入試志願者 | 本学所定の様式 推薦者（指導教員等）が署名、押印したもの |
| 6. 業績報告書 (◆) | 社会人特別入試 商業科・公民科教員特別入試 修士再履修特別入試志願者 | 社会人特別入試、商業科・公民科教員特別入試・・・卒業論文、研究調査報告書、学術論文等の業績を有する者のみ、その概要をまとめてください。 修士再履修特別入試・・・修士・博士論文の概要（学位取得見込みの者はその学位授与の審査対象となる論文の概要）、その他研究調査報告書や学術論文等の業績を有する者は、その概要をまとめてください。 |
| 7. 志願理由書 (◆) | 社会人特別入試 商業科・公民科教員特別入試 修士再履修特別入試志願者 | 本学所定の様式 志願理由を記入してください。 |
| 8. 在職証明書 | 商業科・公民科教員特別入試志願者 | 教育職員としての在職証明書 |
| 9. 教員免許状の写し | 商業科・公民科教員特別入試志願者 | 高等学校教諭一種免許状（商業または公民）の写し |
| 10. 修士論文または博士論文の写し | 修士再履修特別入試志願者 | 3部提出（学位取得見込みの者は、その学位授与の審査対象となる論文の写し） |
| 11. 検定料免除申請書 (◆) および添付書類 | ※申請者のみ提出 | 本学所定の様式 検定料免除申請を行う場合は、出願時に検定料を払い込まないでください。 |

| 出願に必要な書類 | 提出該当者 | 摘 要 |
|---------------------|-------|--|
| 12. 出願書類提出用封筒 | 全員 | 各自で準備した市販の角形2号(240mm×332mm)の封筒に、上記1～11の必要書類で該当するものを封入し、簡易書留速達で郵送してください。 |
| 13. 出願書類提出用宛名シート(◇) | 全員 | インターネット出願サイトからカラーで印刷し、「12. 出願書類提出用封筒」のおもて面にはがれないよう全面のり付けで貼付してください。出願に必要な書類を封入し、宛名シートの出願者チェック欄において、出願書類に漏れがないことをチェックしてください。 |

(8) 出願書類作成上の注意事項 (Step 4)

- ① 表中の「◇」印の書類は、インターネット出願登録後にインターネット出願サイトからA4サイズでカラー印刷する書類です。インターネット出願登録完了後は、登録内容の修正はできませんので、誤入力のないよう注意してください。
- ② 表中の「◆」印の書類は、本学ウェブサイトから様式をA4サイズでモノクロ印刷(複数ページの場合は両面印刷)して作成する書類です。
(本学ウェブサイト「入試情報－募集要項」<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html>)
黒か青のボールペンまたは万年筆を用い、楷書で記入してください。また、パソコンによる作成も可能です。
- ③ 押印が必要な書類もありますので注意してください。
- ④ 誤って記入した場合は、誤記入の部分を二重線で消し訂正してください。
- ⑤ 廃校、被災または保存期間超過による廃棄など種々の事情により出身学校の成績証明書を得られない者は、成績通信簿を提出してください。提出は原本に限ります。原本の返却を希望する場合は「返送用封筒」を各自で準備し、切手を貼り付けて、出願書類に同封してください。また、これらの提出書類が整わない場合には、本学入試課へ問い合わせてください。
- ⑥ 日本語以外で書かれた証明書には、その日本語訳を必ず添付してください。
- ⑦ 出願書類に次のような不備のある場合は受理できませんので注意してください。
 - ・入学志願票等に、記入漏れまたは誤記入があるもの
 - ・出願書類として添付が必要な証明書等が、同封されていないもの
- ⑧ 出願書類受理後、出願の取り消し、書類の返却および志望等の変更は認めません。
- ⑨ 出願書類について虚偽の記載があった場合は、入学を取り消すことがあります。
- ⑩ 証明書記載の氏名と出願時の氏名が異なる場合は、同一人であることが分かる公的な証明書(戸籍抄本等)を別途提出してください。

(9) 受験票の印刷について (Step 5)

受験票は、出願期間後にインターネット出願サイトから印刷できるようになります。

カラー印刷し、切り取り線に沿ってはさみで切り、試験当日に必ず持参してください。

出願時に登録されたメールアドレスへ、受験票の印刷ができるようになったことのお知らせするメールをお送りしますが、プロバイダによりメールが届かない場合でも、試験日の3日前までにインターネット出願サイトにログインして受験票を印刷してください。

4. 選抜方法

(1) 人間文化専攻

①一般入試（A日程，C日程）

入学者の選抜は，学力検査，面接および出願書類等を総合して判定します。

○学力検査科目

| コース | 外国語科目 | 専門科目 入学後研究する分野 を1つ選択 | 備考 |
|-------------|---|----------------------------|---|
| 言語文化 コース | | 日本語学 | 筆記試験 7つの分野から，入学後研究する分野を1つ選択し てください。 ※英語による出題を含みます。 |
| | | 日本文学 | |
| | | 漢文学 | |
| | | 国語科教育学 | |
| | | 英語学 ※ | |
| | | 英米文学 ※ | |
| | | 英語科教育学 ※ | |
| 地域文化 コース | | 歴史学 | 筆記試験 9つの分野から，入学後研究する分野を1つ選択し てください。 |
| | | 地理学 | |
| | | 社会学 | |
| | | 経済学 | |
| | | 倫理学 | |
| | | 社会科教育学 | |
| | | 食物学 | |
| | | 被服学 | |
| | | 家庭科教育学 | |
| | | スポーツ・ 芸術文化 コース | |
| 保健体育科教育学 | | | |
| スポーツ医科学 | | | |
| スポーツ社会学 | | | |
| バイオメカニクス | | | |
| 運動生理学 | | | |
| 武道文化論 | | | |
| 演奏A ピアノ | 暗譜により，ア) およびイ) を演奏します。 ア) J. S. Bach「平均律クラヴィア曲集（第1巻ま たは第2巻）」のうちで，任意の1曲。 イ) 古典派以降のピアノ作品で，任意の1曲。 | | |
| 演奏B 管弦打楽器 | 任意の1曲を演奏します（楽器は伴奏のピアノ以外 全て受験者が準備してください）。 ※伴奏者が必要な場合は，受験者が準備してくださ い。伴奏者を準備した場合は，事前に本学入試課 へご連絡ください。 | | |
| 演奏C 声楽 | 歌曲，オペラ，オラトリオから任意の1曲を暗譜で 歌います。 ※伴奏者が必要な場合は，受験者が準備してくださ い。伴奏者を準備した場合は，事前に本学入試課 へご連絡ください。 | | |

| コース | 外国語科目 | 専門科目 入学後研究する分野 を1つ選択 | 備考 |
|------------------------------------|--------------------|----------------------------|--|
| スポーツ・ 芸術文化 コース | | 作曲・指揮 | 作曲・指揮とも和声（試験当日にソプラノ課題による四声体を60分で作成）を課します。 あわせて、作曲の場合は楽譜または録音・録画による異なる作品2点を、また、指揮の場合は録音・録画による2公演を、出願書類とともに提出してください。録音・録画で提出する場合は、CD、DVD、Blu-ray Discのどれかの形によるものとします。なお、提出物（コピーでも可）は返却しません。 |
| | | 音楽科教育学 | 筆記試験 |
| | | 絵画 | 作品提出、または筆記試験（絵画、彫刻） （注）入学願書の専門科目記入欄には、作品提出か筆記試験のいずれかについても明記してください。提出作品は2年以内に制作したもの3点とし、指導教員や上司等による制作証明書（様式任意）または出展目録等を添付してください。 |
| | | 彫刻 | 作品の大きさは特に制限しません。作品と制作証明書の提出は、試験当日8:30～8:45の間に美術棟（本要項末の福島大学案内図参照）内の受験生控室に、原則として本人が直接提出してください。 |
| | | 美術理論・美術史 | 筆記試験 |
| | | 美術科教育学 | |
| 人間発達 心理コース （教育 心理学領 域） | | 教育心理学 | 筆記試験 心理学全般にわたる知識、および論文読解に関する出題を行います。 |
| 人間発達 心理コース （幼児 教育領 域） | | 幼年教育 | 筆記試験 幼児教育、幼児心理、保育内容の問題を出題します。 |
| 人間発達 心理コース （臨床 心理領 域） | 英語 注) 1 注) 2 | 臨床心理 | 筆記試験 臨床心理学の基礎的知識について出題します。 |

注) 1 外国語科目について、当該言語の通常の辞書の持ち込みを認めます（電子辞書は除く）。

注) 2 英語の代替措置

ア) 出願時まで3年以上の教職経験（学校教育法第1条に定めるものに限る）をもつ者は、自らの研究業績を、英語と代替することができます。

イ) 代替を希望する者は、入学願書の学力検査科目の外国語の欄に「研究業績等」と記入し、研究業績2点以内を、研究業績書、出願書類とともに提出してください。

ウ) 代替可能な業績は、臨床心理にかかわる内容のもので、何らかの形で「公刊」されたものであること。ただし、公刊予定のものについては、そのことを証明する書類を付してください。具体的には、以下のものが該当します。

- ・論文…学会誌，研究機関等の研究紀要，商業誌等に掲載されたもの
- ・著書，翻訳書，辞典等の項目執筆
- ・研究報告…地域研究会，県・文部科学省等の指定研究の発表会，小・中・高教研等の研究会，民間の研究会などの発表資料で研究内容が具体的に示されているものと，それが明示されているパンフレットやプログラム等。なお，共著の場合は，分担部分を明示してください。

○面接 入学後の研究計画を中心に行います。研究しようと考えている教科または分野にかかわる基礎的知識等を問う場合もあります。

②学類所属生特別入試（A日程，C日程）

入学者の選抜は，出願書類等および面接の結果を総合して判定します。

○面接 出願書類等を基にして，志望動機や研究の見通し等について質問します。研究しようと考えている教科または分野にかかわる基礎的知識等を問う場合もあります。

③現職教員特別入試（A日程，C日程）

入学者の選抜は，出願書類等および面接の結果を総合して判定します。

○面接 出願書類等を基にして，志望動機や研究の見通し等について質問します。研究しようと考えている教科または分野にかかわる基礎的知識等を問う場合もあります。

（2）地域政策科学専攻

①一般入試（A日程）

入学者の選抜は，学力検査（筆記試験）および面接の結果を総合して行います。

○学力検査（筆記試験） 研究計画に即した専門科目1科目，全専門科目から1科目の計2科目。出願後，専門科目の変更は認めません。

「筆記試験専門科目出題範囲一覧」を参照ください。

○面接 提出された「研究計画書」等を中心に行います。

②一般入試（C日程）

入学者の選抜は，学力検査（筆記試験・口述試験）および面接の結果を総合して行います。

○学力検査（筆記試験） 研究計画に即した専門科目1科目。

出願後，専門科目の変更は認めません。

「筆記試験専門科目出題範囲一覧」を参照ください。

○学力検査（口述試験） 提出された「卒業研究」とその要旨，または「小論文」に基づき，その内容に関して実施します。

○面接 提出された「研究計画書」等を中心に行います。

③社会人特別入試（A日程，C日程）

入学者の選抜は，学力検査（口述試験）および面接の結果を総合して行います。

○学力検査（口述試験） 提出された「研究計画書」を中心に行います。

○面接 提出された「研究計画書」等を中心に行います。

④社会人特別推薦入試（A日程，C日程）

入学者の選抜は，面接の結果に基づいて行います。

○面接 提出された「研究計画書」等を中心に行います。

⑤外国人留学生特別入試（A日程，C日程）

入学者の選抜は，学力検査（筆記試験）および面接の結果を総合して行います。

○**学力検査（筆記試験）** 研究計画に即した専門科目1科目を選択し，日本語で論述してください。出願後，専門科目の変更は認めません。

「筆記試験専門科目出題範囲一覧」を参照ください。

○**面接** 提出された「研究計画書」等を中心に実施します。

筆記試験専門科目出題範囲一覧（令和7（2025）年度）

●印は，専門科目出題対象外になります。

| コース | 専門科目名 | 出題範囲等 | 専攻対応授業科目 |
|---------------------|-------------------------------|---|--------------------------|
| 法・政策 コース | 憲法 | 憲法に関する基礎知識とその理解を問う。 | 憲法Ⅰ，憲法特論Ⅰ 憲法Ⅱ，憲法特論Ⅱ |
| | 刑法・刑事裁判法 | 刑法・刑事訴訟法の基礎知識および刑事政策に関する基本的理解を問う。 | 刑事法学 司法福祉政策 |
| | 地方自治法 | 地方自治法に関わる基本的知識を問う。 | 地方自治法Ⅰ 地方自治法Ⅱ |
| | 国際法 | 国際法に関する基本的知識と理解を問う。 | 国際法Ⅰ 国際法Ⅱ |
| | 行政法 | 行政作用法・行政救済法の総論に関する基礎知識とその理解を問う。 | 行政法Ⅰ 行政法Ⅱ |
| | 民法（家族法） | 民法の家族法分野（第4編・第5編）における基礎的知識・理解を問う。 | 民法特論Ⅰ 民法特論Ⅱ |
| | 民法（財産法） | 民法の財産法分野（第1編から第3編）における基礎的知識・理解を問う。 | 消費者法 財産法特論 |
| | 法社会学 | 法社会学の基礎理論についての知識を問う。 | 法社会学Ⅰ 法社会学Ⅱ |
| | 民事訴訟法 | 民事訴訟法に関する基礎的知識の理解力を問う。 | 民事手続法 民事救済法 |
| | 企業取引法 | 商法総則・商行為法・会社法・保険法の基本問題について問う。 | 商法Ⅰ 商法Ⅱ |
| | 労働法・社会保障法 | 労働法および社会保障法に関する基礎知識とその理解を問う。 | 労働法・社会保障法Ⅰ 労働法・社会保障法Ⅱ |
| | 地方行政論 | 戦間期（WWⅠ～WWⅡ）における地域社会の現実と行政課題について概括的に問う。 | 地方行政 地方制度 |
| | 行政学 | 行政学，地方自治に関する基礎知識とその理解を問う。 | 行政学Ⅰ 行政学Ⅱ |
| | 政治過程論 | 政治変動に関わる諸理論の習熟度を問う。 | 比較政治Ⅰ 比較政治Ⅱ |
| | 国際政治論 | 国際政治学の基礎的な知識を問う。 | 国際政治Ⅰ 国際政治Ⅱ |
| 現代政治論 | 政治学および現代政治理論（政治哲学）の基礎的な知識を問う。 | 政治学原論 現代政治論 | |
| コミュニ ティ探究 コース | 社会計画論 | 社会計画・農村計画の基礎知識とその理解を問う。 | 社会計画Ⅰ 社会計画Ⅱ |
| | 地域環境論 | 環境社会学の理論やアプローチについての理解を問う。 | 地域環境論Ⅰ 地域環境論Ⅱ |

| コース | 専門科目名 | 出題範囲等 | 専攻対応授業科目 |
|-------------|-----------|---|------------------------------|
| コミュニティ探究コース | 社会調査論 | 社会調査の考え方および量的・質的調査の実施に関わる知識を、地域社会研究との接点で問う。 | 社会調査Ⅰ 社会調査Ⅱ |
| | 地域福祉論 | 地域福祉の理念等に関する基本的知識、および近年の実践活動や動向についての理解を問う。 | 地域福祉論Ⅰ 地域福祉論Ⅱ |
| | 情報社会論 | 情報化に関わる社会理論および現代社会における情報化の現状についての基本的知識。 | 社会と情報Ⅰ 社会と情報Ⅱ |
| | ジェンダー論 | 社会の中の諸領域・諸問題（労働、家族、災害等）における、ジェンダー/セクシュアリティに関わる基礎的理論、および現実分析について。 | 地域社会とジェンダーⅠ 地域社会とジェンダーⅡ |
| | 文化史 | 日本中世史に関する基本的理解を問う（問題には史料読解を含む）。 | 地域社会と歴史Ⅰ 地域社会と歴史Ⅱ |
| | 地域史 | 日本近代史に関する基本的理解および史料の読解能力を問う。 | 地域社会と歴史Ⅲ 地域社会と歴史Ⅳ |
| | 考古学 | 日本を中心とする世界の考古学、および考古学の方法と理論に関する基礎的知識。 | 地域社会と考古学Ⅰ 地域社会と考古学Ⅱ |
| | 社会教育論 | 社会教育を中心に広く生涯学習の理論、歴史、法制、計画、実践等の専門基礎知識。 | 地域社会と社会教育Ⅰ 地域社会と社会教育Ⅱ |
| | 言語文化論Ⅱ | 日本語、英語の「標準語」成立の過程をテーマに、国際社会の言語と文化の理解を問う。 | 地域社会の国際化と言語Ⅰ 地域社会の国際化と言語Ⅱ |
| | ●国際交流文化論Ⅰ | オーストラリアと日本の交流史がどのように発展してきたかについて、基礎的な知識を問う。 | 国際交流研究Ⅰ 国際交流研究Ⅱ |
| | 欧米文化論Ⅰ | フランスにおける芸術作品と社会背景との影響関係について基礎的な知識を問う。 | ヨーロッパ文化研究Ⅰ ヨーロッパ文化研究Ⅱ |
| | 欧米文化論Ⅱ | 欧米の英語圏の文化について学ぶ上で必要な基礎的知識およびその理解を問う。 | 英米文化研究Ⅰ 英米文化研究Ⅱ |
| | 社会学原論 | 社会学理論の主たる概念についての基礎知識を問う。 | 社会の基礎理論Ⅰ 社会の基礎理論Ⅱ |
| | メディア論 | メディア研究に関する基本的な知識を問う。なお、専門科目の学修に役立つと思われる参考書として、吉見俊哉『メディア文化論』（改訂版）（有斐閣、2012年）、稲増一憲『マスメディアとは何か』（中公新書、2022年）、竹内郁郎・児島和人・橋元良明編『メディア・コミュニケーション論Ⅰ・Ⅱ』（新版）（北樹出版、2005年）を挙げておく。 | メディア論Ⅰ メディア論Ⅱ |
| | ●地域社会学 | 社会学における地域やコミュニティに関する視点について、基本的な理解を問う。 | 地域社会学Ⅰ 地域社会学Ⅱ |

| コース | 専門科目名 | 出題範囲等 | 専攻対応授業科目 |
|---------------------|--------|------------------------------|--------------------|
| コミュニ ティ探究 コース | ●都市計画学 | 都市計画・まちづくりに関する基礎的 な知識を問う。 | 都市計画特論Ⅰ 都市計画特論Ⅱ |

(3) 経済経営専攻

①一般入試（B日程，C日程，D日程）

入学者の選抜は，学力検査（筆記試験，面接），研究計画書等の提出書類を総合して行います。

○学力検査科目と出題方式

| 筆記試験 | | 面接 |
|-----------------------------|---|---|
| 外国語科目 | 専門科目 | |
| 英語（留学生以外に限る） 日本語（留学生に限る） | マクロ・ミクロ経済学 政治経済学 経済政策 日本経済 世界経済 地域経済 | 経営組織 戦略・マーケティング 会計学 ※出願時に1科目選択，出 願後の変更は認めない |

(注) 1. 各専門科目の問題は，4年制大学の経済学・経営学分野の専門教育における基礎的内容と応用的内容の両方にまたがって出題されます。なお，出題範囲もしくはそれに関わる参考図書は，下表のとおりです。

2. 留学生は，外国語科目として日本語を選択しなければなりません。留学生以外は，外国語科目として英語を選択しなければなりません。

3. 特に指示がある場合を除き，日本語で解答してください。なお，専門科目の中には英語による出題，解答が可能な科目があります。詳細は，以下までお問い合わせください。

問い合わせ先：

福島大学入試課 Tel:024-548-8064

E-mail:nyushi@adb.fukushima-u.ac.jp

| コース | 専門科目名 | 出題範囲もしくはそれに関わる参考図書 |
|------------|----------------|--|
| 経済学 コース | マクロ・ミクロ 経済学 | 【参考図書】 伊藤元重著『ミクロ経済学』[第3版]（日本評論社）2018年 宮尾龍蔵著『コア・テキスト マクロ経済学』[第2版]（新世社） 2017年 |
| | 政治経済学 | 商品，価値，貨幣，資本，賃労働など，政治経済学の諸領域にかかわる 問題を出題する。 |
| | 経済政策 | 財政政策，金融政策，産業政策，通商政策，社会政策など経済政策の諸 領域にかかわる問題を出題する。 |
| | 日本経済 | 日本経済の現状および19世紀以降の歴史にかかわる問題を出題する。 |
| | 世界経済 | 世界経済史，20世紀後半の国際経済体制，グローバル・イシューなど世界 経済の仕組みと課題にかかわる問題を出題する。 |
| | 地域経済 | 土地利用と産業の立地，都市の成立と発展，日本の地域政策とその変 遷，地域づくり，まちづくり，地域交通など，地域・都市経済学分野の 理論や政策を出題範囲とする。 |
| 経営学 コース | 経営組織 | 【参考図書】 中川功一，佐々木将人，服部泰宏著『考える経営学』（有斐閣）2021年 青島矢一著『経営学入門（はじめての経営学）』（東洋経済新報社） 2022年 |
| コース | 専門科目名 | 出題範囲もしくはそれに関わる参考図書 |

| コース | 専門科目名 | 出題範囲もしくはそれに関わる参考図書 |
|------------|------------|--|
| 経営学 コース | 戦略・マーケティング | 【参考図書】 中川功一，佐々木将人，服部泰宏著『考える経営学』（有斐閣）2021年 青島矢一著『経営学入門（はじめての経営学）』（東洋経済新報社） 2022年 |
| | 会計学 | 【参考図書】 伊藤邦雄著『新・現代会計入門』〔第6版〕（日本経済新聞出版） 2024年 櫻井通晴著『管理会計』〔第7版〕（同文館出版）2019年 |

学力検査の配点

| | 外国語科目 | 専門科目 | 面接 | 総点 |
|----|-------|------|-----|-----|
| 配点 | 100 | 100 | 100 | 300 |

②学類所属生特別入試（B日程，C日程，D日程）

- ・専門領域科目G P平均，研究計画書(3,000字程度)とそれに基づいた面接により合格者を決定します。
- ・配点：専門領域科目G P平均50点，面接100点，150点満点
なお，専門領域科目G P平均については，「4」を50点，「2.75」を0点とし，4～2.75の間を比例的に換算し，得点とします。

(注) 1. 経済経営学類『学修案内』の「専門領域開講科目及び担当者一覧（令和元年度以後入学者）」に含まれる全ての科目は，地域デザイン科学研究科経済経営専攻「学類所属生特別入試」への出願の際に求める専門領域科目G P平均を算出する対象となります。

③社会人特別入試（B日程，C日程，D日程）

- ・面接，研究計画書およびその他の提出書類等を総合的に判断して合格者を決定します。
- ・面接開始前に入学志願者の研究計画に関連のある事項について，日本語で文章を作成してもらいます（400字程度，90分以内）。作成した文章は面接の際に資料として利用します。

○社会人特別入試の研究計画書作成要領について

以下の項目A～Cについて，全体で3,000字程度となるように作成してください。

- A 研究の背景と目的：研究テーマを設定した背景と目的を，これまでの仕事または問題関心と関連させて，具体的に記入してください。研究テーマを設定した背景や目的に関連する参考文献，資料，新聞・雑誌記事等がある場合，それも明示してください。
- B 研究方法：Aで記述した研究の目的を達成するために，在学期間にどのような手順で研究を進めるのかを，学修計画を含めて，できるだけ具体的に記入してください。また，既に進めている調査法や統計などの分析方法に関する学修，文献あるいは資料調査等の成果があれば記入してください。
- C 研究成果：在学期間に得られた研究成果や能力が，仕事等との関連で将来どのように活かされるのか，支障のない範囲で具体的に記入してください。

④商業科・公民科教員特別入試（B日程，C日程，D日程）

入学者の選抜は，研究計画書とそれに基づいた面接，およびその他の提出書類を総合して行います。

⑤修士再履修特別入試（B日程，C日程，D日程）

入学者の選抜は，研究計画書とそれに基づいた面接，およびその他の提出書類を総合して行います。

5. 試験日程および試験会場

(1) 試験日程

① A日程

| 専攻 | 入試区分 | 日 時 | 試験科目等 | |
|------------|---------------|-----------------|-----------------|------------------|
| 人間文化専攻 | 一般入試 | 令和6年10月16日(水) | 9:00～ 10:00 | 外国語 |
| | | | 10:20～ 11:50 | 専門科目 |
| | | | 14:00～ | 面接 |
| | 学類所属生特別入試 | 令和6年10月16日(水) | 14:00～ | 面接 |
| | 現職教員特別入試 | 令和6年10月16日(水) | 14:00～ | 面接 |
| 地域政策科学専攻 | 一般入試 | 令和6年10月16日(水) | 9:30～ 12:30 | 学力検査(筆記試験) |
| | | | 13:30～ | 面接 |
| | 社会人特別入試 | 令和6年10月16日(水) | 9:30～ | 学力検査(口述試験) 面接 |
| | 社会人特別推薦入試 | 令和6年10月16日(水) | 9:30～ | 面接 |
| 外国人留学生特別入試 | 令和6年10月16日(水) | 10:00～ 11:30 | 学力検査(筆記試験) | |
| | | 13:30～ | 面接 | |

② B日程

| 専攻 | 入試区分 | 日 時 | 試験科目等 | |
|---------------|--------------|--------------|-----------------|------------|
| 経済経営専攻 | 一般入試 | 令和6年12月7日(土) | 9:00～ 10:30 | 外国語科目 |
| | | | 11:00～ 12:30 | 専門科目 |
| | | | 13:30～ | 面接 |
| | 学類所属生特別入試 | 令和6年12月7日(土) | 13:30～ | 面接 |
| | 社会人特別入試 | 令和6年12月7日(土) | 11:00～ 12:30 | 面接のための資料作成 |
| | | | 13:30～ | 面接 |
| 商業科・公民科教員特別入試 | 令和6年12月7日(土) | 13:30～ | 面接 | |
| 修士再履修特別入試 | 令和6年12月7日(土) | 13:30～ | 面接 | |

③ C日程

| 専攻 | 入試区分 | 日 時 | 試験科目等 | |
|--------|-----------|-------------|-----------------|------|
| 人間文化専攻 | 一般入試 | 令和7年2月5日(水) | 9:00～ 10:00 | 外国語 |
| | | | 10:20～ 11:50 | 専門科目 |
| | | | 14:00～ | 面接 |
| | 学類所属生特別入試 | 令和7年2月5日(水) | 14:00～ | 面接 |
| | 現職教員特別入試 | 令和7年2月5日(水) | 14:00～ | 面接 |

| 専攻 | 入試区分 | 日 時 | | 試験科目等 |
|-----------|---------------|--------------|-----------------|------------------|
| 地域政策科学専攻 | 一般入試 | 令和7年2月12日(水) | 10:00～ 11:30 | 学力検査(筆記試験) |
| | | | 13:00～ | 学力検査(口述試験) 面接 |
| | 社会人特別入試 | 令和7年2月12日(水) | 10:00～ | 学力検査(口述試験) 面接 |
| | 社会人特別推薦入試 | 令和7年2月12日(水) | 10:00～ | 面接 |
| | 外国人留学生特別入試 | 令和7年2月12日(水) | 10:00～ 11:30 | 学力検査(筆記試験) |
| 13:00～ | | | 面接 | |
| 経済経営専攻 | 一般入試 | 令和7年2月1日(土) | 9:00～ 10:30 | 外国語科目 |
| | | | 11:00～ 12:30 | 専門科目 |
| | | | 13:30～ | 面接 |
| | 学類所属生特別入試 | 令和7年2月1日(土) | 13:30～ | 面接 |
| | 社会人特別入試 | 令和7年2月1日(土) | 11:00～ 12:30 | 面接のための資料作成 |
| | | | 13:30～ | 面接 |
| | 商業科・公民科教員特別入試 | 令和7年2月1日(土) | 13:30～ | 面接 |
| 修士再履修特別入試 | 令和7年2月1日(土) | 13:30～ | 面接 | |

④D日程

| 専攻 | 入試区分 | 日 時 | | 試験科目等 |
|-----------|---------------|-------------|-----------------|------------|
| 経済経営専攻 | 一般入試 | 令和7年3月8日(土) | 9:00～ 10:30 | 外国語科目 |
| | | | 11:00～ 12:30 | 専門科目 |
| | | | 13:30～ | 面接 |
| | 学類所属生特別入試 | 令和7年3月8日(土) | 13:30～ | 面接 |
| | 社会人特別入試 | 令和7年3月8日(土) | 11:00～ 12:30 | 面接のための資料作成 |
| | | | 13:30～ | 面接 |
| | 商業科・公民科教員特別入試 | 令和7年3月8日(土) | 13:30～ | 面接 |
| 修士再履修特別入試 | 令和7年3月8日(土) | 13:30～ | 面接 | |

(2) 試験会場

福島大学(福島市金谷川1番地)

※ 本要項末の福島大学案内図を参照してください。試験会場等の詳細については、本学ウェブサイトの「入試情報」(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)で確認してください。

6. 障がい等のある入学志願者の事前相談

病気・負傷や障がい等のある入学志願者で、受験上および修学上の配慮を必要とする場合は、出願の1か月前までに本学入試課に申し出てください。試験時間中、病気・負傷や障がい等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要です。

7. 安全保障輸出管理について

本学は、外国人留学生等の教育・研究内容が国際的な平和および安全の維持を阻害することが無いよう、「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理を行っています。それにより、希望する教育・研究内容の変更を求める場合がありますのでご注意ください。

なお、詳細については、研究・地域連携課(024-548-5248)までお問い合わせください。

8. 合格者発表

| 日程 | 専攻 | 合格発表日時 |
|----|----------|----------------------|
| A | 人間文化専攻 | 令和6年10月24日(木) 午前11時 |
| | 地域政策科学専攻 | 令和6年10月24日(木) 午前11時 |
| B | 経済経営専攻 | 令和6年12月12日(木) 午前11時 |
| C | 人間文化専攻 | 令和7年2月13日(木) 午前11時 |
| | 地域政策科学専攻 | 令和7年2月20日(木) 午前11時 |
| | 経済経営専攻 | 令和7年2月6日(木) 午前11時 |
| D | 経済経営専攻 | 令和7年3月20日(木・祝) 午前11時 |

本学ウェブサイトの「入試情報」(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)に受験番号を掲載します。

合格者には「合格通知書」および入学に必要な手続・諸会費等を記載した「入学手続の手引き」を送付します。

電話等による可否の問い合わせには応じません。

9. 入学手続および入学手続に係る留意事項

- (1) 合格者は、下記期間に郵送により入学手続を完了してください。詳細は、合格者に送付する「入学手続の手引き」に記載しますので、必ずご確認願います。

| 日程 | 専攻 | 入学手続期間 |
|----|----------|------------------------------|
| A | 人間文化専攻 | 令和6年12月13日(金)～20日(金) 午後4時必着 |
| | 地域政策科学専攻 | 令和6年12月13日(金)～20日(金) 午後4時必着 |
| B | 経済経営専攻 | 令和6年12月13日(金)～20日(金) 午後4時必着 |
| C | 人間文化専攻 | 令和7年3月7日(金)～15日(土) 午後4時必着 |
| | 地域政策科学専攻 | 令和7年3月7日(金)～15日(土) 午後4時必着 |
| | 経済経営専攻 | 令和7年2月11日(火・祝)～18日(火) 午後4時必着 |
| D | 経済経営専攻 | 令和7年3月21日(金)～27日(木) 午後4時必着 |

※ 指定期日までに入学手続を完了しない場合は、合格者としての権利を失います。

(2) 入学料および授業料

| | | |
|-----|-------------------|-------------------|
| 入学料 | 282,000円 [予定] | |
| 授業料 | 前期分 267,900円 [予定] | 後期分 267,900円 [予定] |
| 年 額 | 535,800円 [予定] | |

- (注) 1. 入学時および在学中に入学料・授業料の改定が行われた場合には、改定時から新たな入学料・授業料が適用されます。
2. 入学手続完了後、特別な事情により入学を辞退する場合には、事前に本学入試課まで電話で連絡し、令和7(2025)年3月31日(月)午後5時までに「入学辞退願」(様式は任意)を提出してください。ただし、入学料は返還しません(留年等により入学資格を満たせなくなった場合を含みます)。
3. 授業料は、入学後に口座引落により納入していただきますので、入学時に納入する必要はありません。
4. 入学時に必要となる入学料以外の諸会費等については「入学手続の手引き」送付の際にお知らせします。

10. 入学料・授業料の減免について

経済的理由により入学料、授業料の納入が困難で、かつ、最終大学・学校等における学業成績が優秀と認められる場合には、選考のうえ入学料、授業料の減免が許可される制度があります。

11. 不正行為の禁止について

(1) 不正行為に該当する行為および罰則について

試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用する等の行為は、不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、不正行為については、警察に被害届を提出する場合があります。

(2) 試験時間中に使用できないもの

試験時間中に、次のものを使用してはいけません。

① 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、イヤホン(補聴器等の管理医療機器除く)、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類

※ 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。

※ 試験時間中、病気・負傷や障がい等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要です。

② 下敷、コンパス、定規等の補助具

※ これらの補助具や電子機器類をかばん等にしまわず、身につけていたり手に持っているとな不正行為となることがあります。

12. 入学志願者の個人情報保護について

本学では、提出された出願書類や入学試験により個人情報を取得します。取得した個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」および「国立大学法人福島大学個人情報保護管理規則」に基づき、下記の目的でのみ利用し、その保護に努めます。

○入学者選抜に関する業務(統計処理等の付随する業務を含む)に利用します。

○入学手続に関する業務に利用します。

○入学手続完了者にあつては、入学後の修学指導業務および学生支援業務、授業料徴収業務、入学者の教育方法の改善に利用します。また、入学料免除、授業料免除および各種奨学金申請（応募）者にあつては、入学試験の成績等を当該免除者または奨学金貸与者の選考判定等に利用する場合があります。

なお、出願手続に関する業務を円滑に進めるため、業務の一部を外部に委託しています。委託先に対して、必要な個人情報を提供しますが、委託先との間で適切な取り扱いに関する契約の締結をはじめ、適切な監督を行います。

13. 東日本大震災（原発事故含む）および激甚災害において被災された方に対する検定料の免除について

本学では、東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所事故、および平成23年度以降において豪雨災害等の激甚災害で被災された方の経済的負担を軽減し、被災受験者の進学機会の確保を図るために、令和6（2024）年度に行われる全ての入試において、検定料免除の特別措置を以下のとおり行います。

(1) 対象者

出願期間終了までに、次のいずれかに該当すると認められた本学入学志願者については、検定料を全額免除します。

- ① 東日本大震災において指定された災害救助法適用地域で被災された方、または平成23年度以降に「激甚災害」に指定された災害により被災された方で、本人または主たる家計支持者が居住していた家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失の罹災と認定された方
- ② 東日本大震災において指定された災害救助法適用地域で被災された方、または平成23年度以降に「激甚災害」に指定された災害により被災された方で、主たる家計支持者が死亡または行方不明となった方
- ③ 東京電力福島第一原子力発電所事故を受けて設定された「警戒区域」、 「計画的避難区域」、 「緊急時避難準備区域」、 「特定避難勧奨地点」に平成23年3月11日時点で本人または主たる家計支持者が居住していた方で、これに伴い避難を余儀なくされた方

上記免除対象者の詳細については以下の表をご確認ください。

| 区 分 | 検定料免除の可否（可は○，否は×で示しています） | | | | |
|---------------------|--------------------------|-------------|---------------|--------------|------------------|
| | 全 壊 | 大規模半壊 | 半 壊 | 流 失 | 一部損壊 |
| ①家屋の全・半壊 | ○ | | | | × |
| ②主たる家計支持者が死亡または行方不明 | 主たる家計支持者 | | | | 主たる家計支持者以外 × |
| ③原発事故による影響 | 警戒区域 | 計画的 避難区域 | 緊急時避難 準備区域 | 特定避難 勧奨地点 | それ以外の 地域 × |
| | ○ | | | | × |

注：区域については、再編前の区域としています。

(2) 必要書類

検定料免除を申請するにあたって必要な書類は以下のとおりです。

① 検定料免除申請書（本学所定の様式）

本学ウェブサイト「入試情報—募集要項」

(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html>) 参照

② 次に挙げる証明書のいずれか一つの写し

上記(1)①に該当する場合、「市町村長が発行する罹災証明書」

上記(1)②に該当する場合、「主たる家計支持者の死亡または行方不明を確認できる書類」

上記(1)③に該当する場合、「避難している（いた）ことが確認できる書類」

（自己申立書でも可）

(3) 必要書類の提出方法と提出期間

出願時に書類と合わせて提出してください。

なお、検定料免除申請を行う場合は、出願時に検定料を払い込まないでください。

※出願期間後の申請は認められませんので、ご注意ください。

※諸事情により出願時に(2)②の証明書等を提出できない場合は、事前に本学入試課までお問い合わせください。

14. 追加募集等について

1. 【人間文化専攻 追加募集】

人間文化専攻においては、A日程およびC日程入学試験の結果、合格者が募集人員に満たない場合、追加募集を行うことがあります。実施する場合は、募集の詳細を、本学ウェブサイトの「入試情報」(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)で公表します。

2. 【地域政策科学専攻 追加募集】

地域政策科学専攻においては、A日程およびC日程入学試験の受験状況を踏まえ、追加募集を行うことがあります。実施する場合は、募集の詳細を、本学ウェブサイトの「入試情報」(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)で2月初旬頃公表します。

15. 長期履修学生制度について

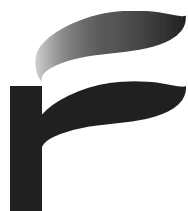
地域デザイン科学研究科では、職業を有しているなどの事情を持った入学者に対する就学支援として長期履修制度を実施します。これを利用することにより、2年分の授業料で3年または4年計画で修学できます。また、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例による教育として、夜間・土曜日、ならびに夏季・冬季休業期間中の授業開講や研究指導を可能とします。在職者や家庭の諸事情（育児、介護等）を抱える学生も、自分のペースで計画的に研究に取り組むことができます。

長期履修学生制度に関する問い合わせ先： 福島大学教務課

人間文化専攻入学志願者 Tel: 024-548-8106

地域政策科学専攻入学志願者 Tel: 024-548-8255

経済経営専攻入学志願者 Tel: 024-548-8356



国立大学法人

福島大学

Fukushima University